

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

新販路開拓コンサルティング『WIN-WINネット業務』

【WIN-WINネット業務について】

業務の目的

お取引先事業者と当行が「WIN-WIN」の関係となり、永続的に良好かつ強力なリレーションを構築することを目的としています。

業務の概要

お客さまの売上を増やすために、当行ネットワークを活用して新たな販売見込先への販路開拓を支援し、商談から売上入金金まで見届ける『新販路開拓コンサルティング業務』です。

お客さまのWIN

- ・自社では困難な販路先の開拓を銀行が責任をもってお手伝いすることで、売上増加を支援します。
- ・行員同席による交渉支援に加え、経営改善や事業運営方法のアドバイスも行います。



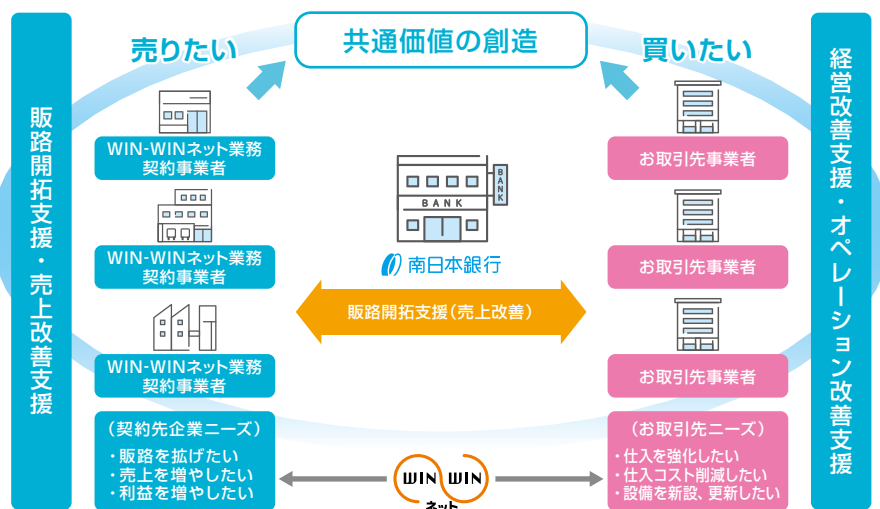
当行のWIN

- ・お客さまの売上増加が収益拡大へつながることで、当行との中長期的なお取引の継続、拡大へつなげてまいります。
- ・「地域に責任をもつ真の地域金融機関」として、地域経済活性化を下支えることで、当行の持続可能性につなげてまいります。

【WIN-WINネット業務が目指す支援】

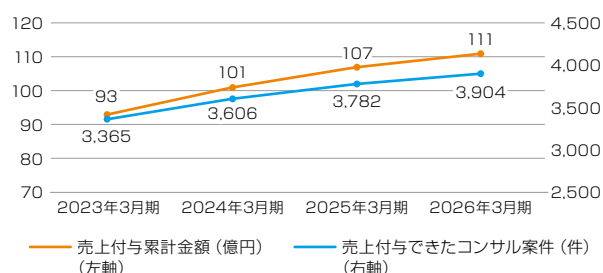
地域の厳しい事業環境におかれているお取引先事業者の販路開拓を支援します	【売上改善支援】
「販路開拓支援」だけでなく、お取引先事業者の経営課題解決を支援します	【本業支援】
お取引先事業者の「商品・サービス」を深掘りし、「強みの活用」を支援します	【企業価値向上支援】
継続的な商流創出を実現し、地域経済回復・活性化を支援します	【サステナビリティ支援】

【WIN-WINネット業務の仕組み】



【WIN-WINネット業務契約先およびコンサル案件成約状況】

業務開始以降累計（2026年3月末現在）	
売上付与累計金額	111億円
売上付与できたコンサル案件	3,904先
契約先数	790先
売上付与先数	591先
売上付与率	74.8%



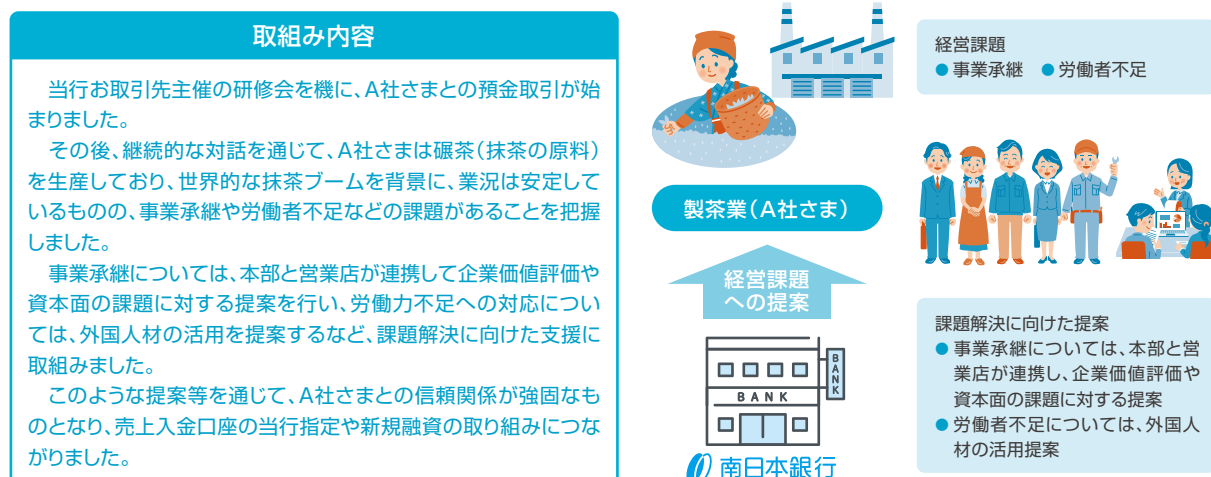
中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

① なんぎんファンを増やす取組み

当行では、第2次中期経営計画において『なんぎんファンを着実に増やす』ことを掲げ、重要な経営課題として取組んでいます。

人口構造の変化やデジタル化、物価高騰など、地域とお客さまを取り巻く環境が大きく変化する中でも、お客さまとの信頼関係を一層深め、なんぎんファンを着実に増やしていくことが、預金・貸出金のシェア拡大にとどまらず、行員一人ひとりのやりがいや、地域における当行の存在価値の向上につながると考えています。

【ファンを増やすための取組みの一例】



① 「DX認定事業者」の認定取得について

当行は、第1次中期経営計画において、データとデジタル技術を活用した業務変革の取組みとして、DX（デジタルトランスフォーメーション）を掲げています。

DX施策を進展させるべく、2025年6月に『南日本銀行DX戦略』を策定し、2025年10月には、経済産業省が定めるDX認定制度に基づく『DX認定業者』に認定されました。

当行は、デジタル技術を活用したDXを通じて、生産性向上や業務効率化を図るとともに、お客さまが必要とする「デジタル」サービスを積極的に提供していくことで、地域に貢献・信頼される金融機関であり続けることを目指してまいります。



① 一般社団法人金融データ活用推進協会(FDUA※)への加盟について

当行は、AIをはじめとするIT技術を用いた金融データ活用の高度化を目的に、一般社団法人金融データ活用推進協会(FDUA)に一般会員として加盟しました。

本協会への加盟により、幅広い業務領域においてAI等のIT技術を効果的に活用し、業務の効率化やデータ分析の高度化を図ることで、業務改革(DX)を進めます。

加えて、お客さまの利便性を高める新たな付加価値サービスの展開を目指してまいります。

※FDUA…一般社団法人金融データ活用推進協会の略称。金融業界におけるデジタル化が急速に進む中、業界・各社の発展および個人のスキルアップに貢献することを目的として、金融機関の実務目線に立って、AI・データ活用の推進に取り組むため、金融機関とAIスタートアップなどが集まり発足した団体です。

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

⑧ 鹿児島県「価格転嫁サポーター制度」への参画について

「価格転嫁サポーター制度」とは、事業者の円滑な価格転嫁への取組みを支援することを目的に、鹿児島県を中心とする県内金融機関、鹿児島県信用保証協会、奄美群島開発基金、かごしま産業支援センターの職員が「価格転嫁サポーター」となり、県内事業者の価格交渉や価格転嫁への取組みを促すものです。当行も、本趣旨に賛同し、参画いたしました。

今後も、お取引先事業者が抱える経営課題の解決に向け、役職員一丸となり支援してまいります。



⑨ なんぎんSDGs宣言書作成支援サービス

本サービスは、「SDGs取組診断ツール」を使用し、お客さまのSDGsへの取組状況を把握、分析することで経営課題を発掘し、SDGsへの取組みを支援しています。

また、SDGsの観点から取引先の事業内容の理解を深めるとともに、本サービスをお客さまとの対話ツールの一つとして活用しています。



⑩ 「なんぎんビジネスセミナー」の開催

お取引先事業者の新入社員及び若手社員の皆さまを対象に、社会人として必要なビジネスマナーの習得を目的とした「なんぎんビジネスセミナー」を毎年開催しています。

2026年度は、(株)アルテミスジャパンの代表取締役「乙守 三千代」氏を講師として招聘し、『知ってトクする！仕事の“ワザ”習得』をテーマに、同社が独自に開発した「個質学(自分のコトと相手のコトを同時に理解、把握、共有ができるコミュニケーション分析ツール)」を活用し、人間関係の円滑化が非常に重要であるといった講義や、実践形式での接遇研修が行われました。

今後も本セミナー等を通じて、地域における若手社員の人材育成に貢献し、地域経済の活性化に努めてまいります。



【「なんぎんビジネスセミナー」の様子】

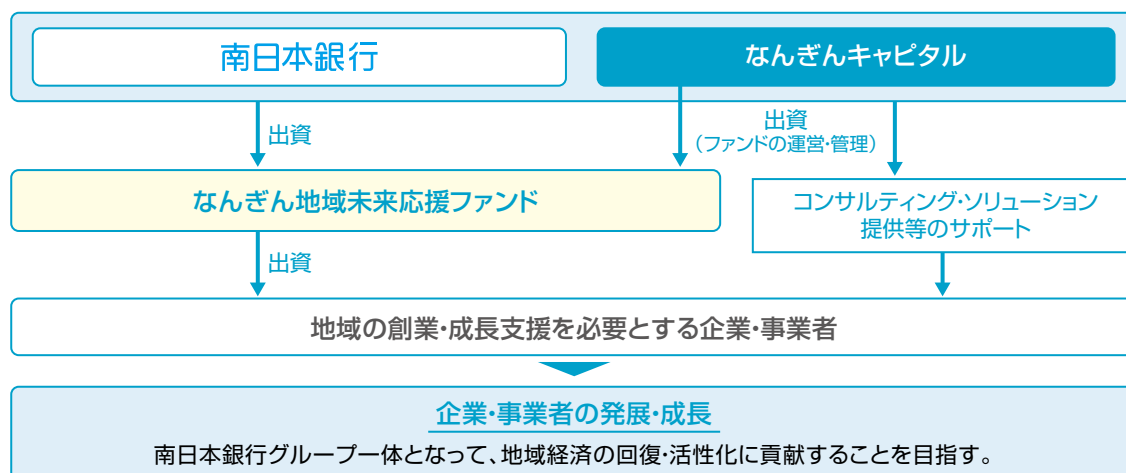
中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

⑧ 株式会社なんぎんキャピタルの取組み

2023年4月に、当行100%出資による投資専門子会社「株式会社なんぎんキャピタル」を設立し、該社を無限責任組合員、当行を有限責任組合員とする投資事業有限責任組合「なんぎん地域未来応援ファンド」を設立しています。

当ファンドは、地域経済に寄与する技術やサービスを有するスタートアップ企業等を支援することを目的としており、地域の将来を担う起業家の育成・支援や地域のお客さまのライフステージに応じた投資など、鹿児島県経済への貢献に繋がる企業への投資を行っています。

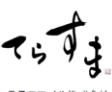
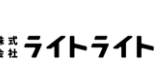
【運営スキーム】



【第1号ファンドの概要】

名称	なんぎん地域未来応援ファンド投資事業有限責任組合(略称:なんぎん地域未来応援ファンド)
ファンド総額	5億円
投資対象	地元(鹿児島県)の創業・成長支援の対象となる株式未公開の企業。鹿児島県以外の企業については、原則、株式会社南日本銀行の営業管轄区域の企業を対象とする。
目的	創業・成長支援を必要とする企業(事業者)への投資を通じて、地域経済の回復・活性化に貢献していくことを目指す。
存続期間	10年間

【投資先】

企業名	 AMI株式会社	 iCUREX株式会社	 ファーマーズサポート株式会社	 テラスマイル株式会社	 株式会社ライトライト	 株式会社ZIFISH
投資実行日	2024年5月28日	2024年10月11日	2025年4月28日	2025年7月30日	2025年10月31日	2026年3月5日

⑨ 「なんぎんカップ争奪 鹿児島市少年サッカーリーグ」の開催

2025年4月～12月に、「2025年度 第32回 なんぎんカップ」を開催しました。

同大会は、地域の未来を担う子供たちの成長を応援し、スポーツを通じた“つながり”の強さで、地域の輝く未来をつくることを目指し、継続的に実施しています。

当行は、これからも地域の皆さまに寄り添い、皆さまとともに歩みながら、地域の未来を支える取組みを継続してまいります。

